

令和4年度資金収支状況について

1 資金収支

令和4年度における歳計現金等（歳計現金及び雑部金）の残高は、年度当初が約246億4千3百万円、令和5年3月末では約364億2千6百万円であった。

その間、一日あたりの平均残高は、約141億7千万円、最高残高が約364億2千6百万円、最低残高は67億円であったため、繰替運用及び一時借入れを実施する必要は生じなかった（表1参照）。

表1 歳計現金等残高比較 (単位：百万円)

年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
最高額	45,750	25,447	36,426
最低額	△313	△2,269	6,700
平均額	11,192	5,099	14,170

2 基金運用

令和5年3月末現在における積立基金の残高は、約691億円であり、前年同期に比べ、約22億円の増となっている。

平成25年4月から開始された大規模な金融緩和政策によって市場には大量の資金が供給され続けるなか、平成28年2月より実施されている日銀のマイナス金利継続、現在は新型コロナウイルス感染拡大の影響も大きく、金融機関の定期性預金金利及び債券利回りは極めて低い水準となっている。

このような状況の下、基金の運用は、極力普通預金での保管を減らし、安全性及び流動性を確保できる大口定期預金等による運用を継続してきた。その結果、令和4年度の運用益は約3千6百万円、運用利回りは約0.05%となった（表2参照）。

なお、令和5年3月末の積立基金運用状況は、表3を参照。

表2 積立基金運用益比較

年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度末残高	62,838,971,823 円	66,914,749,241 円	69,148,469,070 円
運用益	88,411,960 円	34,792,018 円	36,131,941 円
運用利回り	0.14%	0.05%	0.05%

表3 積立基金運用状況（令和5年3月31日現在）

（単位：円）

基金名	残高	運用種別		
		普通預金	債券	定期性預金
財政調整基金	29,998,889,932	17,000,854,932	898,035,000	12,100,000,000
社会福祉施設整備基金	3,570,661,729	2,070,661,729	500,000,000	1,000,000,000
減債基金	294,374,691	294,374,691	0	0
義務教育施設整備基金	20,249,191,421	15,249,191,421	0	5,000,000,000
平和基金	101,061,365	101,061,365	0	0
区営住宅整備基金	1,127,569,172	627,569,172	0	500,000,000
介護給付費準備基金	3,204,891,358	3,204,891,358	0	0
道路・公園整備基金	3,048,054,789	3,048,054,789	0	0
まちづくり基金	7,041,425,703	7,041,425,703	0	0
区民公益活動推進基金	2,499,745	2,499,745	0	0
環境基金	204,967,935	204,967,935	0	0
新型コロナウイルス 感染症対策利子補給基金	304,881,230	304,881,230	0	0
計	69,148,469,070	49,150,434,070	1,398,035,000	18,600,000,000